仙台市科学館
蒲生調査レポート　速報版

No.48

2012.12.1

〒981-0903　仙台市青葉区台原森林公園4番1号
仙台市科学館　事業係
TEL:022-276-2201　FAX:022-276-2204
http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp/

津波被害から1年半が経過した防潮林
毎木調査結果からわかるニセアカシアの分布拡大

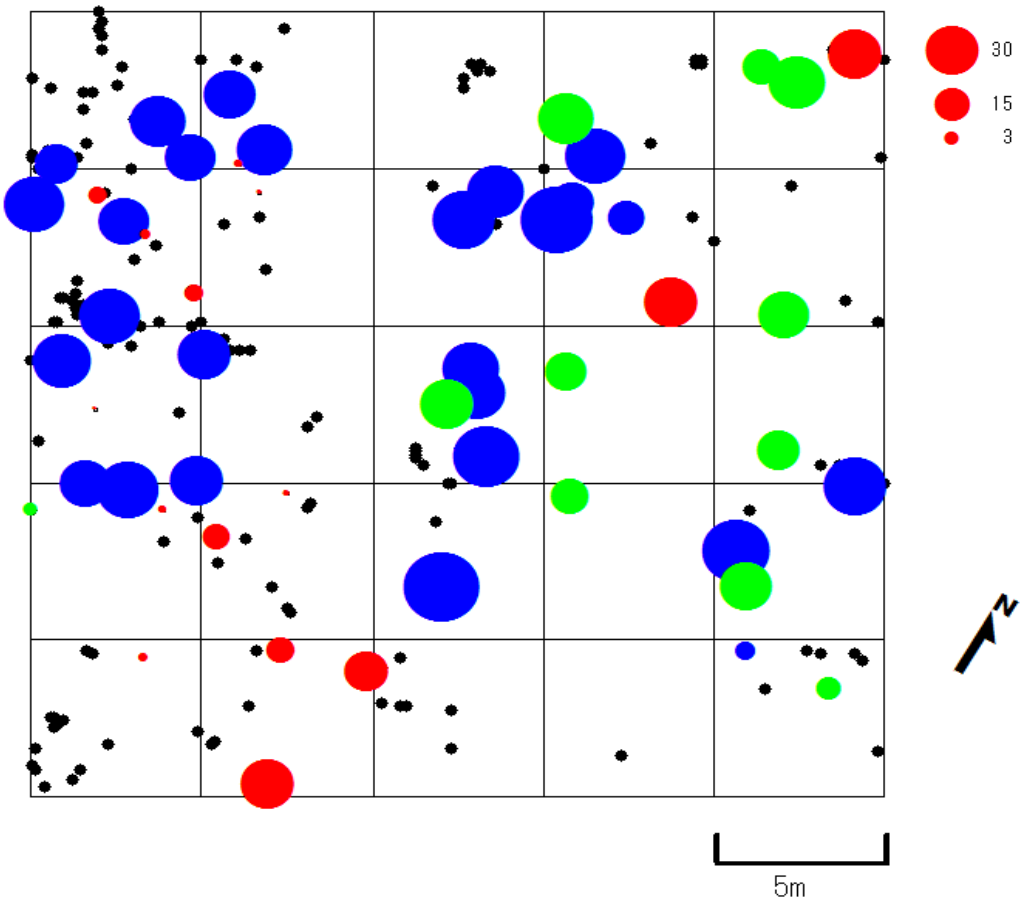
津波被害から1年半が経過した時期における防潮林の毎木調査結果を紹介します。

下図は南蒲生の防潮林のうち津波被害の小さかった数少ない地点に策定した毎木調査地です。長島・攝待(2012)において防潮林の津波被害を、物理的な影響と塩害による影響に分けて考える必要があることを指摘しましたが、この調査地点は南蒲生の下水処理センターの内陸側に位置していたため、物理的な影響が小さい場所でした。

仙台市科学館では、数少ない津波被害の小さかった場所で毎木調査を行っています。この地点では、防潮林の構成種のうち、植栽マツの被害はほとんど見られませんでした。注意すべき点はニセアカシアの幼樹あるいは低木が増えている点です。外来種であるニセアカシアは防潮林の肥料木として植栽されたものですが、津波被害という生態学的な攪乱現象を利用して個体群を増やす傾向が認められます。

津波被害の大きい地点では、その傾向がより大きく出ていることが様々な研究から明らかになっています。注意深く継続観察する必要があります。

（引用文献）
長島康雄・攝待尚子（2012）2011年東北地方太平洋沖地震津波によって生じた樹木被害の概要、仙台市科学館研究報告、第21号別冊、p12-17



凡例

- クロマツ・アカマツ
- サクラsp
- ニセアカシア
- 他の低木性樹種

※　●のサイズはDBH（胸高直径）を示す。単位はcm。

(長島康雄・攝待尚子・髙橋真実)